静岡市

報道資料

（2026年11月10日発表）

11月25日、26日、27日 国際消防救助隊連携訓練

【趣旨・背景】

・「国際消防救助隊（IRT 正式名称：International Rescue Team Of Japanese Fire-Service）」は、海外で大規模災害が発生した際に被災国政府等からの要請を受け、日本政府が実施する国際緊急援助活動の一環として捜索・救助活動を行うため、1986年に整備された体制です。

・静岡市は、消防庁の「国際消防救助隊出動体制の基本を定める要綱」に定める国際消防救助隊編成協力市町村として登録されており、大規模災害の発生時に迅速に救助活動に協力できるよう、派遣する隊員をあらかじめ選抜・登録しています。

・今回の訓練には、市消防局のほか、全国登録消防本部の国際救助隊員や医療関係者などが参加します。海外での大規模災害を想定した実践的な環境で、高所や倒壊建物からの救出、医療関係者や災害救助犬との連携などを行い、隊員の救助技術の向上と関係機関との連携体制の強化を図ります。当該訓練を当局で主催するのは、平成 30 年度以来2回目です。

【開催概要】

≪日時・会場≫

①2026年11月25日（水曜日）13 時30分から16時 30 分まで
　静岡市牧之原消防署（牧之原市波津 191 番地の1）

②2026年11月26日（木曜日）、27 日（金曜日）9 時から16時まで（2会場で実施）
　静岡市消防局庁舎（駿河区南八幡町 10 番 30 号）
　静岡市牧之原消防署（牧之原市波津 191 番地の1）
　※両会場雨天決行。②については、会場ごとに訓練内容が異なります。（別紙イメージ図を参照）

≪訓練内容≫

　地震が発生し、甚大な被害が発生している状況を想定した各種活動
・初動における情報収集・情報共有活動
・ロープを使用した高所からの救出活動
・倒壊した建物のがれきの下に取り残された人の救出活動
・医療関係者や災害救助犬との連携活動
・木材を加工した倒壊建物の補強など二次災害を防止する活動

≪参加者≫

　100人程度
　市消防局職員　約50人、全国登録消防本部の国際救助隊員　約50人、医療関係者　5人、
　災害救助犬とハンドラー（災害救助犬に指示を出し、捜索活動を行う担当者）2頭、3人

【取材について】

・取材していただける場合、下記問い合わせ先までご連絡ください。
・車でお越しの場合は、各会場の来客駐車場をご利用ください。

【問い合わせ先】

静岡市消防局　安全対策課（駿河区南八幡町 10 番 30 号）担当者　山本、小原、中山　　電話 054－280-0204

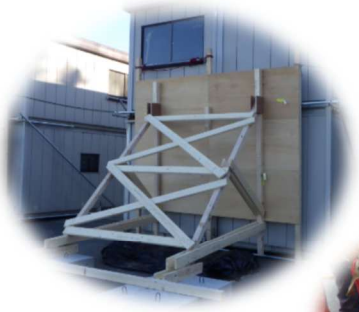
【別紙資料等】有「各会場イメージ図」

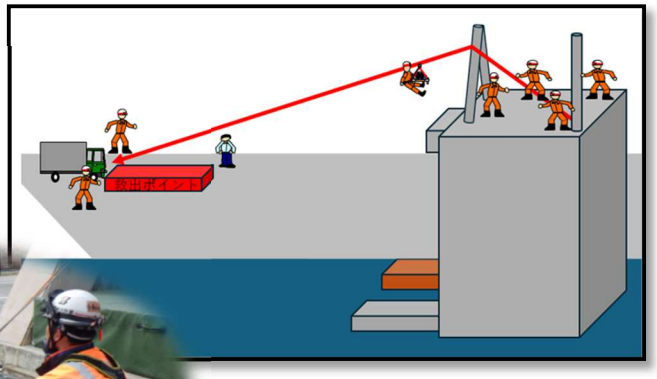
別紙

各会場イメージ図

静岡市駿河消防署

・高所からロープによる救出　・木材加工による、倒壊建物の二次災害防止活動







静岡市牧之原消防署

・初動における情報収集・情報共有活動　・建物倒壊による、がれき下からの要救助者救出
・医師、災害救助犬等との連携活動







※画像はイメージです。